

今後の予定

第 90 回 1 月 18 日(木) 13 : 00 3F 松風の間

『習近平・新体制の行方』

矢吹 晋氏 中国研究家 横浜市立大学名誉教授

1962 年東京大学経済学部卒

(元東洋経済新報社、アジア経済研究所 勤務)

10 月の中国共産党大会で習近平国家主席は 5 年目、その一曲集中体制の地歩を固めた。党規約に自らの名を冠した「思想」を書き込み、毛沢東、鄧小平に並ぶかのような権威づけが行われ、最高指導部に後継者人事は覗えない。

2 期 10 年のルールを変え 3 期目以降も続けるつもりなのか。長期院政を敷くつもりなのか。講師は腐敗退治とその裏での権力闘争を経て、これからの内政と一帯一路、対米、対北朝鮮、対アジア・欧州の外交展開を予測・展望する。

第 91 回 2 月 15 日(木) 13 : 00 松風の間

『吉田茂と現代の日本』

井上壽一氏 学習院大学学長 日本政治外交史

1981 年 一橋大学社会学部卒 (細谷ゼミ)

戦後占領期から講和条約を経て 2616 日 (1946～1947、1948～1954) 吉田茂は、優れた政治感覚と強いリーダーシップをもって 5 回にわたり総理大臣に任命され、混乱期の日本をリードし、戦後日本の礎を築いた。

1951 年 (昭和 26 年) 9 月 8 日、サンフランシスコ平和条約を締結。また同日、日米安全保障条約を結んだ。その政治姿勢は今なお現代政治に残影を残している。

第 92 回 3 月 15 日 (木) 13 : 00 松風の間

『高齢社会と経済成長』(仮題)

吉川 洋氏 立正大学経済学部教授 東京大学名誉教授

(元東京大学経済学部長)

長寿社会、人口減少を経済衰退の要因と見るかについて、人口と経済問題に取り組んできた講師は悲観的な観方をとらない。高齢化に対応するイノベーションが創薬、ロボティクスから自動運転、混合介護、雇用改革まで、多方面で最先端技術を産み出せば需要も GDP もまだ伸びる。長寿国の日本にはイノベーションの絶好の機会がある。